

## 日本赤十字社事業計画に基づく原料血漿の採血方法別確保目標量について

日本赤十字社は、平成20年度の献血の推進に関する計画における目標量に則り、全血採血で約130万リットル、成分採血で約67万リットル、合計で約197万リットルの血液確保計画を作成し、当該年度に必要な100万リットルの原料血漿を確保することとしております。

### 献血の推進に関する計画（案）

採血方法	全血献血	成分献血			合計
		血小板	血漿	小計	
血液量(L)	1,302,716	306,685	362,602	669,287	1,972,003

#### -日本赤十字社の事業計画について-

全国の輸血用血液製剤の需要動向を踏まえて、採血方法別の必要血液量を算出します。  
当該年度の原料血漿確保目標量（100万L）については、輸血用血液として使用しない血漿と血漿成分献血で確保する計画としております。

### 日本赤十字社事業計画（案）における血液量

採血方法	全血献血			成分献血			合計
	200mL	400mL	小計	血小板	血漿	小計	
血液量(L)	89,232	1,213,484	1,302,716	306,685	362,602	669,287	1,972,003
輸血用血液量	41,628	579,469	621,097	147,686	69,514	217,200	838,297
原料血漿確保量	41,089	527,533	568,622	155,502	275,876	431,378	1,000,000
検査落・減損等	6,515	106,482	112,997	3,497	17,212	20,709	133,706